

なら、やるしかない。

はあ
（お金は、返したくない……）

ぐ!
やつぱりホテルが空くのを待つべきだった。
遅すぎる後悔。でももう、
1万5千円は受け取つてしまつていてる。

（これを……
舐めるの……？）

男が私に、ギンギンに勃起したペニスを突き付けてきた。見るからに汚れている。

（白いカスがついてる……）

なる程、確かにこういうシチュエーションも、燃えますね

こんな汚い亀頭に、舌を這わせたくない。吸うなんて論外。恥垢を飲み込んでしまう。

(だからテレクラは嫌い……。
ロクな人間がいないつ)

割り切ったお付き合いを狙つて
テレクラに来るのなら、
先ず風呂に入るべきだ。

(臭い……つ、臭い臭い臭い……つ
普通……こんな汚いままにしどく……?)

凄まじい臭気が鼻に抜ける。便器を直接舐めたような味が、口一杯に広がった。

汚チンポ相手に
出来ることは限られている。
先端——尿道口を舐めるぐらいだ。

ガツ

れろ、ちゅる……
ちゅぶ、ちゅ、れろあ……

(うう、
先つぽは先つぽで、
しょっぱい……)

じゅぽ
ちゅぱ

にちやッ

これは尿の味だろうか。
先週末の変態中年と、
同族になつてしまつた様な絶望感に襲われる。

(それでも、
恥垢よりはマシ……)

そう思つていると突然、
男の手が私の後頭部を掴んだ。

ちゅる
ちゅう?
ちゅる
ちゅう?
ちゅる
ちゅう?

吐瀉感を誘発するんじゃない匂いが、口の中を転げ回る。

私の歯が、男の恥垢を削いでいく。
削がれた恥垢が、
歯の隙間に落ち込んでいった。

恥垢塗れの陰茎で、口の中をかき回す。
歯に陰茎が当たる。しかし男は
それを気にする様子も無く、腰を動かし続ける。

私の頭を手前に引き寄せる。
それから腰を、私の唇に叩きつけてきた。

あ、や、や……つ、やつ
んぐうつ、くはあつ!!



はあ

私の悶絶と嗚咽に刺激され、
男のペニスがまた震えた。

(気持ち、悪いいいいりうつ)

いいいい!!
おひでーおひでー、おひでー!!

大正
十四年

んぐ、んう…つ!
んぐ、んりりうくつ!
んぐ、おがつ…
んぐ、あがあああ…!

14

——びゅるつ！ びゅくうつ！ びゅくううつ！！
熱くて不快な固まりが、喉の奥で弾けた。

「いつそ胃の中に落ちてくれればいいのに、落ちてくれない。精液は異物として、私の喉に止まり続けた。

ここしかないと、私は思い切り頭を揺らす。

ちゆうかく

10

七
ひゆ
心

也...三

くちよツ
くいじゆう
ちゅう

二四

ああ、いい……
良いですよお

射精の恍惚からか、
男の手が少し緩んだ。

やが、やが……つー
おだ、おだおーーつー

はー
せー

—
びゅくうつ！

わるツアツラ

は
あ

(最、惡……)

それが、私の吐息として放たれている。

胃液と精液と 聰坂に唾液の混ざった匂い最早生ゴミとしか、形容しようのが無い。

吐き出す息は、やはり臭気に塗れていた。

はあ、
ひ、
はあ、
ひあ、
はあ、
ひあ、

۶۰

16

ふあ、はあ、はあ……つ、
ぐえ、せほ、せほつ、
ふあ、ああ、ああ……
ああああああああ……

ようやくペニスを吐き出すことが出来た
開いた口はなかなか閉じてくれない。
下顎が、ブルブルと震えている。

A close-up shot of a person's hand holding a pink smartphone. The screen of the phone displays a vibrant, stylized illustration of a character from a video game. The character has light brown hair styled in two puffs, a determined expression, and is wearing a white t-shirt with a blue circular logo that reads "Wii". He is holding a large, ornate sword with both hands, its hilt and blade gleaming. The background of the illustration is a warm orange and yellow gradient. The overall aesthetic is playful and colorful, matching the pink color of the phone.

男がニュルニュルのペニスを額に擦りつけてくる。

ふーふーふー

にちやあい
じろつ

私にはもう、
それを跳ね除ける気力も残っていなかつた。



はひつ
あふう

ああああ
うわわわわ

もういいや...
顔は後で洗えばいいし...
はあ

男は飽きる様子も無く、
いつまでも私の額に、
ペニスを擦りつけていた。

(ああでも髪の毛...
精液がついたら、
なかなか落ちないのに...)